

日商簿記検定試験はどう変わるのか？

『現在のビジネスパーソンが仕事で使う実務レベルの簿記』を習得することを目的とし、平成28年度より3年にわたり、2級の試験範囲が大幅に変更することになりました。「会社全体の経理が分かるレベル」として言われる簿記2級の重要度がさらに高まります。

ここが
メリット!

簿記2級まで学習することで、
**企業にとって
より即戦力とみなされる**

ここが
メリット!

従来以上にビジネスシーンに
直結する検定試験になり、
**学習意欲も価値も
さらにアップ**

ここが
メリット!

高校生・大学生にとっては
**就職準備としての
学習意義アップに**

「試験が難しくなる」ではなく、実務レベルの学習をすることができ、
自分によりプラスになる試験になるということです。

2級は今がまさに学習スタートのチャンス!

簿記2級 学習範囲の変更点	削除論点			
	◆ 特殊商品売買 ◆ 社債	◆ 特殊仕訳帳制 ◆ 保証債務、為替手形	◆ 繰延資産 ◆ 大陸式決算法	◆ 本支店会計における未達取引の整理、内部利益の控除 ◆ 5伝票制
	追加論点			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	◆ 資本剰余金からの配当 ◆ 株主資本の計数変動 ◆ 売上原価対立法 ◆ クレジット取引(クレジット売掛金) ◆ 電子記録債権(債務) ◆ 固定資産の割賦購入 ◆ ソフトウェア ◆ 有価証券の分類と評価 ◆ 貸倒引当金の個別評価と一括評価 ◆ 各種引当金 ◆ 売上の計上基準 ◆ サービス業の処理	◆ 課税所得の算定方法 ◆ 圧縮記帳 ◆ リース取引 ◆ 外貨建取引 ◆ 連結会計	◆ 税効果会計 ◆ アップストリーム(連結会計) ◆ 製造業を営む会社の決算処理	
	項目は多いですが、分量は削除論点より若干少ないくらいです。 従来と学習ボリュームが変わらない平成28年度試験での受験が狙い目です。			項目は少ないですが、分量はかなり多くなります。

新試験対策はどうすればよいのか？

新試験範囲の情報が氾濫している中、
限られた時間で『合格に必要なポイント』を押さえるための情報整理が必要です。

独学だと

- 市販書籍の中から何が合格に必要なか、探しだすのは困難です。
- 従来にない、実務レベルの新問題に対する知識のアウトプット法を習得するにも、時間がかかります。

TACなら

新試験範囲に対応したカリキュラムで安心して学習できます。

- 自分で情報を探す手間を省き、「合格に必要な部分」を講義内で強弱をつけてしっかり解説。
- 新試験範囲を分析し、専任講師と実務の経験がある講師が、日々新しい情報を講義に取り入れながら、講義に反映。
生講義収録で通信メディアの受講生にも同じ内容を提供。
- 近年の新傾向問題もTACの答練は的中多数! 答練で本試験の模擬訓練+しっかり解説を聞くことで弱点補強。

短期合格で目指すなら、TACの対策講座をおすすめします!